

フェルトダンプ LAN 端子の効果(4)(HP 収載)

—Sonica DAC—

1. 始めに

前報(3)に引き続き、フェルトダンプ LAN 端子の効果を検討します。

2. フェルトダンプ LAN 端子の試聴計画

前報(3)の PC に引き続き、LAN ポートが 1 箇所しかないものの LAN ポートをフリーにし、LAN ポートを使用しない再生を行ってみました。

対象として Sonica DAC を選び、PC から次のような再生を行いつつ、Sonica DAC の LAN ポートの空きにフェルトダンプ LAN 端子を挿しこんでみます。

Sonica DAC の LAN ポートは STP 仕様であり、アリエナイザーを敷いて、その上に載せています。

PC→Sonica DAC→DA-3000

再生ソフトは TEAC の Hi-Res Editor で、音源は PC の SSD に収納したものを読み込んでいきます。

5.6MHzDSD TASCAM DA-3000 にて LiveExtreme のライブ配信録音

菊池洋子 J.S.Bach Goldberg 変奏曲

5.6MHzDSD TASCAM DA-3000 にて LiveExtreme のライブ配信録音

藤田恵美 Headphone Concert 21

5.6MHzDSD TASCAM DA-3000 にて 78 回転アナログ盤

(ウルトラアートレコード UA1004) より録音

小川理子他 Oh lady be good 他

44.1KHz WAV CD (ナクソスジャパン KCD-2078) よりリッピング

稲岡千架 モーツァルト ピアノ変奏曲・ソナタ集

3. フェルトダンプ LAN 端子の試聴結果

Sonica DAC の LAN 空きポートにフェルトダンプ LAN 端子を抜き差ししながら上記音源を再生して聴いていきました。

菊池洋子の Goldberg 変奏曲は、フェルトダンプ LAN 端子ありで、打鍵が明瞭になり、力強さがでてきますが、変化の度合いは前報(3)の PC の場合ほどではありません。

藤田恵美の Headphone Concert 21 は、フェルトダンプ LAN 端子ありで、冒頭のギターがくっきりとし、ボーカルのヴィブラートなど、細かい表現が分かりやすくなり、

ヴァイオリンやブロックフレーテのような笛の音のそれらしくなりますが、変化の度合いは前報(3)の PC の場合ほどではありません。

小川理子の 78 回転盤からの録音は、フェルトダンプ LAN 端子ありで、ピアノの打鍵やギターのパickやドラムスのアタックが明瞭になり、ベースのよどみが引き締まってきましたが、変化の度合いは前報(3)の PC の場合ほどではありません。

稲岡千架の CD リッピングは、フェルトダンプ LAN 端子ありで、打鍵のアタック感が向上し、余韻も明瞭になりますが、変化の度合いは前報(3)の PC の場合ほどではありません。

前報(3)と今回の違いは、上流の PC と下流の DAC との違いで、変化の方向は同じですが、その程度は上流の PC の方が大きいという結果になりました。

4. まとめ

Sonica DAC の LAN ポートにフェルトダンプ LAN 端子を適用する効果を認めましたが、上流の PC の場合ほどではありません。

以上